



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	矢内, 純吉; 辻野, 守典; 福住, 弘雄 他
Citation	makoto. 1990, 69, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85970
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



大阪府環境保健部長

矢内 純吉

新年あけましておめでとうございます。

平成2年のすがすがしい新春を迎え、皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

また、旧年中は本府の環境保健行政に格別のご支援、ご協力を賜りましたことに対し改めて厚くお礼申し上げます。

さて、皆様方と共に迎えましたおだやかな平成2年の初春でございますが、本府におきましては、「交流と創造の時代を先導する大阪」、「新しい豊かさの時代を先導する大阪」という2つの基本理念のもとに、21世紀の大阪づくりをすすめてまいります。

私も環境保健部におきましても、より快適で暮らしやすい社会に向けて、保健・医療・福祉を一層充実させることが必要との認識に立ち、積極的に関係施策の推進に取り組むことといたしております。なかでも昨今、地球的規模で関心が高まっております環境問題につきましては、従前は『大阪府環境総合計画（STEP21）』に基づき、環境保全や快適環境の創造等に努めてまいりましたが、新たな課題にも対応できるよう、平成2年度を中途に新しい環境総合計画を策定することとしております。

ご承知のとおり、鶴見緑地において4月1日より開催されます『国際花と緑の博覧会』には、世界各地から様々な国及び団体の出展参加が予定されており、国際都市・大阪をPRする格好の場になろうとしておりますが、保健・医療の分野でも第一級の国際会議や学会等の開催が予定されており、貴協会を始めとする関係諸団体のご支援を大いに期待している次第でございます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の皆様方におかれましては、本年も一層のご研鑽を積み、貴協会が今後ますますご発展されますとともに、会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念し、新年のごあいさつといたします。

謹賀新年



財団法人大阪防疫協会

理事長 辻 野 守 典

新年明けましておめでとうございます。旧年中は何かと御指導、御鞭撻賜り御礼申し上げますと共に、本年もよろしく御指導賜りますようお願い申し上げます。

さて花博EXPO'90がいよいよ4月1日より大阪市鶴見緑地で開催される運びとなりました。花と言えば昆虫、少年の頃夏休み中朝から日暮れ迄「ハナムグリ」や、「ギンヤンマ」の昆虫採集？に精を出したことを思い出します。「ギンヤンマ」の♂で♂をつかまえてみよう、いつもの1mぐらいの棒、1mぐらいの糸、その先に縛る♀の代わりに♂を縛って（♂を♀らしく見せようと絵の具で♂の羽と腹部を♀らしく塗って）飛んでいる♂の「テリトリー」の中で、♀の時より思い切り速く棒を回して見ると、すぐ♂が近寄って来て、♂に交尾行動をしようとするのをすばやくつかまえて、一人で悦に入っていました。

似たような、ニセの♀に釣られるバッタ釣りの話。「トノサマバッタ」の♀と同じくらいか、やや大きめの棒切れをテグスで縛って竿の先につるし、「トノサマバッタ」の♂のいるところに、棒切れを投げてピクピクと動かしてやると、棒切れを♀と早合点して交尾の体勢に入ろうとするのを……と。

このように書くと昆虫はなんといいかげんなやつかと思われるかも知れませんが、厳しい自然の中でしたたかに生きて行く昆虫こそ、真の姿でしょう。バッタは草に含まれる「におい」に特別に感度の良い受容器を触角に持っているし、蛾の中には姿なき♀を求めて、数km離れた♀の「におい」（性フェロモン）をかぎ分ける♂の種の存在が知られています。

花博では昆虫を惑わす食虫植物も出品されるようですが、自然は花と昆虫の織りなすページェント。花博はどんな演出をされるのか大変興味深いものがありますし、花博の成功を念じております。

新年のごあいさつ



大阪市環境保健局長

福住 弘雄

新年あけましておめでとうございます。

平成2年の新春を迎え、皆様方の御多幸と御繁栄を心からお祈りいたします。

平素は、本市の環境保健行政に格別な御協力を賜り、心から厚くお礼申しあげます。

本市では、昨年市制100周年を迎え、きたるべき21世紀のまちづくりにふさわしい指針となる新総合計画の策定を積極的にすすめ、生きがいと豊かな暮らしのある町、健康で活気に満ちた都市づくりを鋭意進めているところであります。

環境保健局におきましても、昨年9月に、おとしよりが家族・隣人愛のふれあいのある地域社会の中で、安心して在宅療養ができるように医療と生活の両面から支援し、寝たきりにならないよう適切な医療と看護・介護、リハビリテーション等を行う施設である「大阪市おとしより健康センター」を開設するとともに、高度化・多様化する市民の医療ニーズに応えるため、現在ある市民病院を、大規模高機能の「大阪市立総合医療センター」と専門的特色をもつ病院に再編整備するなど市民病院の体系的整備に取り組んでおります。

このように医療機関をはじめとして、快適な住まいよい町づくりを目指し、環境保健行政の推進に努力してまいり所存であります。

また、市制100周年記念事業のメインイベントでもあります「花の万博」が世界にひらく大阪の願いをこめて、いよいよ本年4月に開催されます。

花と緑の美しい水の都、文化の香りと魅力あふれる大阪に世界の人たちを迎えるため、環境整備を図るとともに「花の万博」をぜひとも成功させたいと思いますので、貴協会の皆様方の一層のお力添えを賜りますようお願い申しあげます。

最後に、財団法人大阪防疫協会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御活躍、御健勝をお祈り申しあげまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

'90年にあたって



堺市環境保健局

衛生部長

大保 雅嘉

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。併せて、旧年中は、本市衛生行政に何かとご指導賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、世界的には、中・ソ・東欧諸国の自由化、民主化へのうねり、軍縮による緊張緩和、酸性雨・温暖化・原発問題など地球環境への危機感の高まりなどが関心を集めました。これらの事象を概観するにつけ、来るべき21世紀を見据えた地球規模の大きな変化への胎動のように感じられるのは、私だけではないと思います。

わが国では、昭和天皇の崩御、新年号のスタート、強大な経済力がもたらす貿易摩擦や難民の流入、ODA世界一に見られる国際社会での役割の増大、消費税・リクルート問題に端を発し、次々と誕生した新内閣、など騒然とした一年でもありました。

本市にありましても、昨年は、市制100周年を21世紀へのジャンプ台とすべく、新事業のスタートや新たな町づくりを誘導する各種記念イベントなどが展開され、さらには市長の急逝もあり、ただ慌ただしく過ぎてしまった感があります。

90年代の幕開け、21世紀まで10年余、意識せずとも国内外を問わず来たるべき時代の在り様を考えてしまう新年であります。

地方自治のなかにあつて、行政マンとして、広い視野で21世紀を展望する姿勢は持ちつつも、いつの時代にあつても、保健衛生行政の基本は、市民一人ひとりの健康づくりに応えていくことであると改めて認識するとともに、新年を迎え「できることから地道に、決して努力を怠らないこと」を旨として昨年以上に微力を傾けたいと考えています。

最後になりましたが、関係各位に倍旧のご指導をお願いいたしますと共に、貴協会の今後ますますのご発展、ご活躍をお祈りして、新年のご挨拶といたします。

新年の御挨拶



東大阪市保健衛生部長

上 田 與 四 三

明けましておめでとうございます。

皆様方には御家族共々お健やかに平成2年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は本市の保健衛生行政の推進に多大の御支援を賜り、まことにありがとうございました。

さて、近年我国におきましては、生活環境の改善向上や、保健医療体制の進歩発達により、世界にも例を見ない程急激な人口構成の高齢化が進行しておりますが、これに伴い「健康」の問題が重要な社会的課題となってまいっております。私共市民の保健衛生に係る行政を担当しているものとしたしましては、従前の予防・治療の体制整備の域を超えて、積極的に市民一人一人の「健康づくり」を推進することが来たるべき21世紀の『明るく住みよい活力ある東大阪市』を支える基本的な要件の一つであると認識いたしております。本市におきましては、現在、東大阪市総合計画に基く具体的な政策目標として、平成3年度以降を目指した新基本計画を策定中でありますが、本計画においては、保健所での各種の健康教育や「健康」に関する相談指導体制の充実、「健康展」の定例的な開催等、色々な側面から「健康づくり」の啓発に努め、市民各層の健康に関する意識の改革を図ることといたしております。また、昨年策定されました本市の地域福祉計画においては、保健・医療・福祉各関係機関の緊密な連携に根ざした、総合的な保健医療体系の構築が目標として掲げられておりまして、私共も年頭に際し、課せられた責務の重大さを痛感しているところでございます。何卒今後とも一層の御教示御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

終りになりましたが、貴協会の本年の一層の飛躍と会員各位の御健勝を心からお祈り申し上げて私の御挨拶といたします。

新年のごあいさつ



阪急電鉄株式会社

車両部 宝塚線検車課長

岩 間 之 三

新年あけましておめでとうございます。

平素は当社の駅、車両の美化に御尽力頂きありがとうございます。

さて、21世紀がまた1年近くなりました。

20世紀から21世紀に変わったとたんに何かが起こるということはないでしょうが、近年の科学技術の進歩、社会情勢の変化などからも、新しい時代の到来が予想されます。

身近なところで関西に目を転じてみますと、国際花と緑の博覧会や新空港等のビッグプロジェクトが進行中であり、当社でも梅田地区再開発をはじめとして諸事業を推進している所であります。

ですから関西での人の動きは活発になるでしょうし、国際化もますます進行するのではないのでしょうか。

このような環境の中では、鉄道の駅、車両の美化ということについてのお客様の御要望はますます高度なものになるでしょう。

営業中の駅や車両の美化という作業には、これからは従前以上のきめ細かな配慮が求められるように思います。

ところで、人間の心理とか人格といったものは環境に左右される部分が多分にあり、スッキリとした美しい環境の中では、それに応じた良い心理状態になるものです。ですから、当社を御愛用頂いているお客様に対しては、貴協会と当社はその人格形成にかかわっており、責任を負っていると言っても過言ではないでしょう。

当社は「お客様に真心を」をモットーに、「より完成された鉄道」を目指して本年も努力する所存であり、貴協会におかれましても美化業務についてのより一層の御尽力をお願いするものであります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と貴協会の益々のご発展をお祈りして新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



南海電気鉄道株式会社

鉄道事業本部
運輸部庶務課長

福田 順太郎

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新春を迎え皆様方のご多幸とご繁栄を心から祈念申し上げます。

さて、私ども鉄道事業をとりまく環境は最近とみに厳しいものがあります。ここ数年の変化をみましても、国鉄民営化によるJRの出現、公営地下鉄の新設、延伸、あるいは中長距離バス網の拡充といったように従来ともすれば地域独占を背景にあまえていた感のある鉄道事業は厳しい競争の時代に突入したと言っても過言でないでしょう。

こうした状況をふまえて私どもは、今一度初心に帰って鉄道サービスのあり方を見直す必要があります。

鉄道サービスの基本はまず第一に安全であります。安全で定時運行を行なうことが第一の基本的なサービスであることは言うまでもありません。第二にお客様に快適さを感じていただくことが大切です。一口に快適さと言っても、いろいろな要素があります。施設面で考えてみると乗りごちの良い車両を投入したり、車両冷房化を行なったり、あるいは輸送力増強により混雑緩和を行なったりであります。また適切な旅客案内や係員の親切な応待も、機械で出札業務を代行する時代にはお客様の快適感のためには大事なサービスであります。また、お客様に快適感を持っていただくためには、きれいな車内、清潔な駅を維持していくことが最近特に大事になっております。

私どもは、こうしたサービスを念頭において他社あるいは他の交通手段との競争に遅れをとらないよう努力いたします。

そのためにも、貴協会のご協力、ご指導を従来にもましてお願いいたします。最後になりましたが貴協会のご発展をお祈りしまして新年のご挨拶いたします。

新年のごあいさつ



関西テレビ放送株式会社

総務局施設管理部長

井之川 忠一

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。大阪防疫協会の皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。皆様には平素より大変お世話になり、心から御礼申し上げます。さて平成も早や2年目となりましたが、日本経済は相変らず好調で国際収支も黒字を続けています。この景気を支えているのは日本人の勤勉さ・技術力・工業力等によるものと思います。特に技術の進歩には目ざましいものがあります。テレビ放送の分野でも、皆様ご存じのようにNHKが昨年8月から衛星放送を開始し、全国で受信機が180万台以上普及しています。一方、民間放送各社は昨年6月頃からSNGという新技術を導入しています。昨年3月からJCSAT-1、SCC-Aという民間通信衛星が相次いで打ちあげられました。これらの衛星は赤道上空36,000kmに静止し、地球から送られてきた電波を増幅して地球に再送信するトランスポンダ（電波中継器）を搭載しています。SNGはこれを利用してテレビ中継を今迄より簡単にやろうとするものです。例えば今迄南紀の串本附近からテレビ中継をする場合、4～5箇所の中継基地を経由しなければならませんでした。ところがこのSNGにより中継現場から直接衛星に映像を送り、衛星から送り返された映像は日本全国どこでも受信出来るようになりました。関西テレビでも昨年7月本社屋上に直径5mの大きなパラボラアンテナを設置し、日本各地との送受信を可能とすると共に小型SNG車を配備し、ニュースやその他の番組に利用しています。皆様のお仕事の分野でも年々新しい技術が開発されている事と存じます。技術の進歩に遅れる事なく前進しなければならないと思います。

最後に、貴協会のご繁栄と、会員の皆様方の御健勝と御活躍を祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。